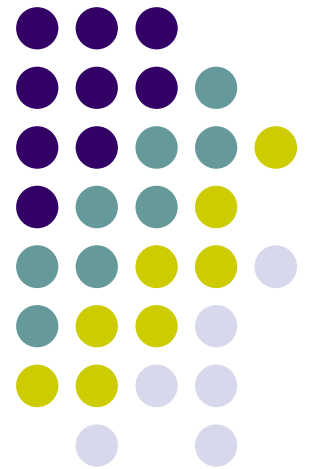
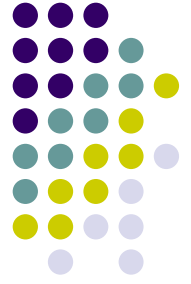


第3回 bashゼミ

・case文

発表者: 鈴木 朋央





構文

case 変数 in

パターン) 文(複数可) ;;

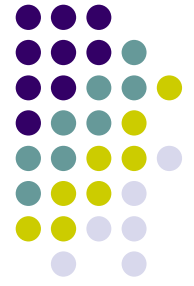
パターン) 文(複数可) ;;

パターン) 文(複数可) ;;

.....

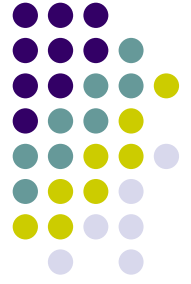
パターン) 文(複数可) ;;

esac



特性

- 変数の値とマッチするパターンを見付け、そのマッチしたパターンに続く文を実行する
 - ファーストマッチ:最初にマッチしたものを採用
- 文は複数記述が可能(;;、&&、||、|、改行でつなく)
- 文の最後に;;を記述して、次のパターンの記述を続ける
- パターンは|でor連結ができ,さらに[]の展開やワイルドカード*を使用できる



使用例

```
case "$x" in
    "hoge") echo hoge ;;
            変数xがhoge
    "hoge" | "HOGE") echo hogeHOGE;;
            変数xがhogeまたは(|)HOGE
    [Hh][Oo][Gg][Ee]) echo hOGe;;
            変数xがhOGe、hogE
    "hoge"*) echo hogefuga;;
            変数xがhogeに0文字以上付加
    *) echo No match!!;;
        それ以外
esac
```



練習問題

- 問題1

コマンドラインからファイル名を引数として渡してやり、そのファイルの有無を調べ、メッセージを返しなさい。

- 問題2

前回作成した2進数のプログラムに修正を加え、出力結果が反転するようにしなさい。

* 必ずfor文、case文、配列を使用のこと